

第16回サイエンスカフェ★えひめ



植物は 環境を語る



いろいろな花の形があることは、植物が長い歴史の中で環境と上手に調和してきた産物として考えることができます。植物の様々な形は、そのような形になるための何らかの意味を含んでいると考えることもできます。そこで今回は、植物と環境の関係性に着目し、四国の様々な環境とそこに適応する植物を紹介したいと思います。

イラクサ VS ニホン
ジカ in 鹿島！
イラクサがとった
生き残り戦略とは？

日時：平成28年 **9月20日(火)**

19:00~20:30

場所：愛媛大学ミュージズ(ミュージアムがある建物)
3階 343会議室
(松山市文京町3番 城北キャンパス)

対象：身近な自然に関心のある人、30人
参加費：200円

◆話題提供◆福田 達哉 さん

東北大学理学部生物学科卒業
東北大学大学院理学研究科生物学専攻
修了 日本学術振興会特別研究員 (PD)
高知大学農学部講師を経て、2008年より
高知大学農学部准教授。専門は植物分類
学、生態学、生物多様性管理学。
平日休日問わず天気の良い日はフィー
ルドに出るのが日課。
田舎が愛媛県南宇和郡愛南町というこ
ともあり、高知に居ながら愛媛における
研究も進めています。

★お申し込み★

お名前、電話番号、e-mailアドレス(お持ちの
場合)を明記の上、下記の連絡先まで、e-
mailあるいはFAXにてお申し込みください。

NPO 森からつづく道 (松山市鉄砲町1-7)

e-mail: info@morimichi.org

FAX: 089-992-9152

(ご提供いただいた個人情報は適正に管理し、
サイエンスカフェ★えひめ、自然観察会等
のご案内にのみ使用します。)

*** 主催：NPO 森からつづく道 共催：愛媛大学女性未来育成センター ***